



警戒レベルで危険度知らせる ～避難の判断、分かりやすく～

情報収集は普段から

■災害の危険箇所

○とっとりWebマップ (防災、観光などの地図情報)

土砂災害警戒区域を確認できます。
<http://www2.wagmap.jp/pref-tottori/>



■避難場所

市町村の防災マップやホームページで確認できます。

■雨が降り出したら

○鳥取県防災情報



河川や気象の情報を確認。
<http://tottori.bosai.info/>

○鳥取県土砂災害情報システム

リアルタイムに危険度や雨量を確認。
<http://d-keikai.sabo-tottori.jp/>



鳥取県防災アプリ「あんしんトリピーナビ」



県内の危機管理関連情報をまるごと確認
できます。
<https://www.pref.tottori.lg.jp/toripynavi/>

災害時に気象庁や市町村から発信される防災情報が6月から、5段階の数値による警戒レベルとともに提供されます。この数値によって、避難のタイミングが分かりやすくなります。

警戒レベル4の避難勧告または避難指示(緊急)が市町村から発表されたら躊躇せず直ちに避難を。避難に時間のかかる人はレベル3で避難を始めてください。また、災害から命を守るためには、普段から危険な場所や避難所、避難経路などの情報を知っておくことが重要です。自治体発行のハザードマップや防災マップ、ホームページを事前に確認しておきましょう。

警戒レベルと住民がとるべき行動

危険度	警戒レベル	行動を促す防災気象情報	発表者	住民がとるべき行動
高 	5	災害発生情報 (既に災害が発生)		命を守る最善の行動
	4	避難勧告 避難指示(緊急)	市町村	避難(警戒レベル5の発表前に)
	3	避難準備・高齢者等 避難開始		高齢者や避難に時間のかかる人、支援者は 避難 他の住民は避難準備
	2	大雨注意報、 洪水注意報 など	気象庁	避難行動の確認 避難場所や経路を再確認
	1	警報級の可能性		災害への心構え 防災気象情報に注意

内閣府「避難勧告等に関するガイドライン」を参考に県庁広報課が作成



県庁危機管理政策課(防災関係) ☎0857-26-7584 ☎0857-26-8137 ✉kikikanri-seisaku@pref.tottori.lg.jp

県庁河川課(河川洪水関係) ☎0857-26-7386 ☎0857-26-8132 ✉kasen@pref.tottori.lg.jp

県庁治山砂防課(土砂災害関係) ☎0857-26-7819 ☎0857-26-8130 ✉chisansabou@pref.tottori.lg.jp

体験通し、価値感広げて ～とっとりインターンシップ～

夏のとっとりインターンシップ

現在、申し込み受け付け中です。

■対象者

大学、短期大学、専門学校などの学生
(県内外・学年不問)

■実施時期／8～9月

■参加者への支援

次の経費の2分の1を助成します。(上限額:3万円)

○県外学生／進学先居住地からの往復交通費、宿泊費

○県内学生／居住地から事業所までの往復交通費

(実施期間中の合計額が5千円以上の場合)、宿泊費

※詳細はホームページをご覧ください。

■申し込み・問い合わせ先

鳥取県中小企業団体中央会

☎0857-26-6671 ☎0857-27-1922

<https://www.tottori-internship.net/>



問 県庁雇用政策課

☎0857-26-7890 ☎0857-26-8169

✉koyouseisaku@pref.tottori.lg.jp

県は、商工団体や大学などと連携し、若者の県内企業への就職を促すために「とっとりインターンシップ」を実施しています。県内外を問わず、大学や短期大学などに通う学生は誰でも参加できます。

インターンシップは、学生が県内企業での就業体験を通して働くイメージを養う制度。実際の職場に身を置くことで、企業の魅力や自らの適性を知るのに役立ちます。参加は1年生から可能で、

申し込みから実習まで専任の「コーディネーター」が学生をサポート。また、一定の要件を満たす場合は交通費や宿泊費の助成も行います。

これまでの参加者からは「仕事に対する価値観を広げる機会」「自分に合う就活スタイルを見つけれられた」などの声が寄せられています。インターンシップは主に春と夏の学校の休講期間に実施。将来について考える機会として活用してみませんか。

高い就航率と定時性が強み ～国際定期貨客船就航10周年～

夏季運航スケジュール(11月ごろまで)



問 県庁通商物流課

☎0857-26-7661 ☎0857-26-8117

✉tsushou-butsumuryu@pref.tottori.lg.jp

境港―東海港(韓国)―ウラジオストク港(ロシア)を結ぶ唯一の国際定期貨客船航路は今年、就航10周年を迎えます。これからもぜひ、北東アジア地域への旅行やビジネスにご利用ください。

運航する韓国のDBSクルーズフェリー社の「イースタンドリーム号」は就航以来昨年未までに、累計45万人の旅客と21万トンの貨物を輸送。乗客のほか、農産物、食品、重機や精密機械などさ

さまざまな貨物の輸出入に利用されています。

これまでの10年間で証明されたこの航路の強みは、何と言っても定時性。通常の貨物船の場合、港への到着時刻はまちまちですが、旅客も輸送するこの貨客船は定時運航。こうした正確性や大量物資の輸送は、ビジネス拡大に有効な手段となり得ます。

また、時間に余裕のある人には船旅にも。日常を離れて、ゆったりと楽しめます。